



平成19年5月10日

国土交通省道路局長 様

訓子府町長 菊池 一 春



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

日頃より本町行政に対し、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、標記について下記により意見を提出いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

記

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

(1) 高規格道路網の整備

北海道は広域分散型の地域構造が特性であり、幹線高規格道路網の整備が重要であると考えます。

特に国道のない本町では、ふるさと銀河線の廃止から1年が経過し、日常生活の移動はもとより十勝圏、道央圏、重要港湾、空港への時間距離の短縮や安全性など幹線高規格道路網の整備が最重要課題であると考えます。

(2) 道路防災事業

北海道は幹線道路網密度が低く、近年多発する異常気象を原因とする自然災害発生時の緊急避難路、物流を確保するため災害に強い道路網の構築が必要であると考えます。

2. 効率化を徹底的に進める上で重要な事項について

地方行政は、少子高齢化が進むなかでコンパクトなまちづくりが求められていますが、今後地域の活力を維持するためにも、他地域との交流、役割分担が必要となってきます。

そのために幹線道路網整備の事業効果の早期発現が重要であることから、既存ストックの有効活用や投資を集中させ、効率化を図る必要があると考えます。

3. その他道路政策について

地方における生活道路の舗装率は極めて低い状況にありますので、補助制度の拡充にあわせ、道路特定財源活用による整備が必要であると考えます。